

営農分野：生産性の向上について

当プロジェクトでは、稲作の収量を上げるため、種子・肥料の貸付と4回の研修をセットにした栽培技術強化プログラムに力を入れています。これは、優良種子を使い、肥料を適切な時期に、多からず少なからず適量を、適切な方法で施用することで、今まで以上の収量を目指す、というものです。

プロジェクトは、「農家の収入向上」を実現するために5つの着眼点で活動していますが、営農分野はこのうち「生産性の向上」の部分を担当しています。プロジェクトが編集したガイドブックには、どのようにして研修と種子・肥料の調達、配付、資金の回収を組み合わせるのかについて記載がされており、今回は、その概要についてお話しします。



1. 収量向上のポイント

- ① 栽培カレンダーによる
栽培計画、実施、記録
- ② 種子選別
(水や塩水による選別)
- ③ 浸種、催芽、播種、移植
- ④ 施肥(基肥、2回の追肥)
- ⑤ 病虫害の対策
- ⑥ 水管理
- ⑦ 収穫および収穫後処理

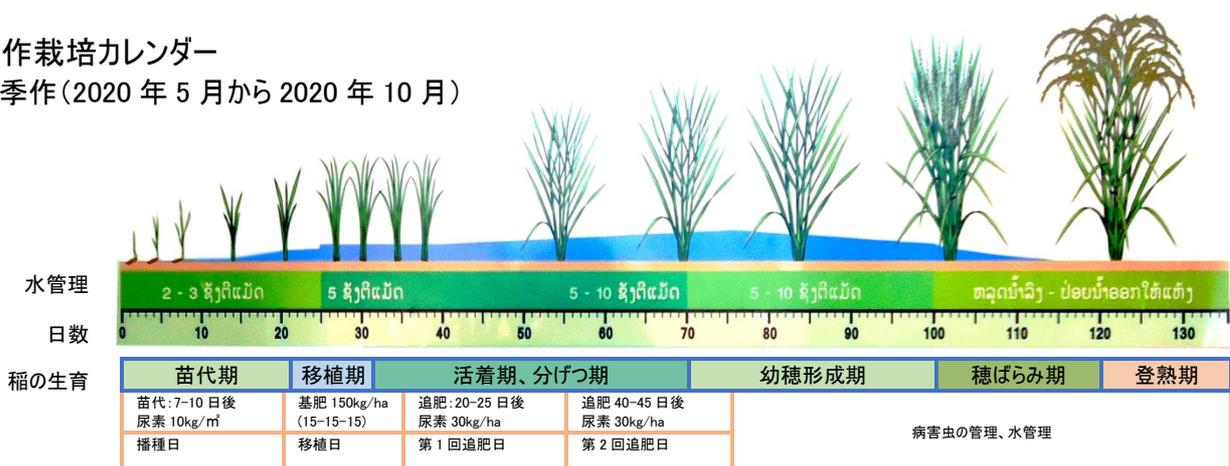
2. ガイドブックの内容

プログラムを円滑に進めるためには、種子・肥料の配付と4回の研修を組み合わせることが重要なポイントです。

例えば、第1回研修の終了後に、種子と基肥を配付し、第2・3回目研修の後に追肥を配付するなど、研修ごとに必要な投入材を配付することで、農家が習ったことをすぐ実践しやすくするような環境作りに配慮しています。

ガイドブックでは、こうした点をふまえ、研修の内容と実施方法、モニタリングや現場指導の仕方、収量調査の実施方法の他、種子・肥料の貸し付けや資金の回収をどのような手順で行うかについて細かい説明が記されています。

稲作栽培カレンダー
雨季作(2020年5月から2020年10月)



農家は、この栽培カレンダーを参照しながら、それぞれの作業や水量の管理をします。

ガイドブックの第3章(営農分野)では、以下のような項目で、農業普及員が現場で使える経験や技術が紹介されています。

第3章 生産性の向上

1 種子・肥料の貸付と研修をセットにした栽培技術強化プログラム

- (1) 概要
 - (2) 農家会議、プログラムの申込手続き
 - (3) 研修
 - ①第1回研修(栽培カレンダーを用いた計画、種子の選別、施肥方法)、基肥の配付
 - ②第2回研修(追肥1回目、施肥量の計算方法、病虫害対策)、追肥配付
 - ③第3回研修(追肥2回目、施肥量の計算方法、病虫害対策)、追肥配付
 - ④第4回研修(刈り取り適期、収穫と収穫後処理)
 - (4) モニタリングと現場指導
(全体の20%以上のモニタリングと現場指導)
 - (5) 資金回収: 水利組合→DAFO→PAFO
 - (6) 収量調査(聞き取り調査)
- 2 集中実証圃、普及員と中核農家のための実証圃の設置
- 3 収量調査(坪刈り)の実施

「収量が増えない」、「普及員が研修を実施しても農家が集まらない」、このような経験がある地区は、サバナケット県農林局のSavan PADプロジェクト担当職員にご連絡下さい。

次号予告

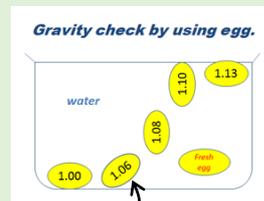
マーケティング分野のガイドブックについて報告します。

<ガイドブックの内容抜粋>

●種子・肥料貸付契約書 (P.51-52)

- 種子・肥料貸付けによる条件を農家に説明した上で参加申込書を集めること。
- 栽培技術強化プログラムに参加する農家は研修に参加すること。

●第1回研修、種子・基肥の配付 (P.55)



How to select seed

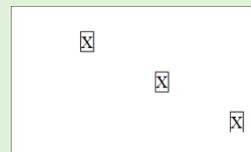
種子選別に理想的な塩水濃度は卵の傾きで確認できる

●モニタリングと現場指導 (P.63-65)

研修終了後、習ったことをどの程度実践しているか、モニタリングシートを用いて確認する。



●収量調査 (P.69)



圃場の3箇所を1㎡ずつ刈り取って収量を推計



脱穀



乾燥後に重量を計測